

平成20年度 学校評価表

6 中野実業高等学校 91 中野立志館高等学校 (定時制)

学校教育目標	重点目標(中・長期的目標)
1 学び究めようとする心の涵養に努める 2 よき社会人になるための人間性の陶冶に励む 3 心身共に活力のみなぎる生徒を育む 4 生命を尊び人権を尊重する心を培う	1 基礎学力を身につける 社会で生きていくための基礎的な知識を、座学だけでなく体験的な課題追究型学習を通して身につくようにする 2 社会性を身につける 基本的な生活習慣や社会のルールを、仕事に就くことや生活指導などを通して会得できるようにする。また学校行事・生徒会活動などを通じて、友人との協力・共同を培い、友情を深めることができるようにする 3 自主性を高め、自己表現を豊かにする 総合的な学習や生徒会活動・学校行事など自分を表現する場を通して、意欲・成就感が得られるように努め、自信を持って歩めるようにする。また自分の将来を見つめながら自己啓発につながる進路指導に配慮するとともに、芸術鑑賞などを通して豊かな情操感を培うように配慮する
	今年度の重点目標
	1 教育課程：教育課程の見直しを図る 2 学習指導：習熟度別授業の充実を図る。 3 生徒指導：多様化する生徒に対応する個別指導の確立。生徒支援体制の確立。 4 進路指導：定時制独自の進路方針の検討 5 クラブ指導：クラブ活動の活性化を図り生徒指導の充実に繋げる 6 地域との連携：学校開放事業の積極的な実施及び外部に向けて情報の発信を行う。 7 校務分掌と組織：活力有る校務分掌組織の構築 8 校内研修：多様化した生徒に応える研修の充実

達成度  
 A 達成できた  
 B ほぼ達成できた  
 C 改善の余地がある

総合評価	[成果と課題] 普通科となり6年目になった。当初の教育課程もそろそろ見直しの時期になった。今年度は教育課程表の見直しの検討に入る。また、多様化する生徒に対応するべく様々な支援体制を図る。 ・ 入学生の増加とそれへの対応(環境整備・クラブ活動の活性化・習熟度授業の充実) ・ 生徒の進路指導の充実(会社見学・卒業学年の進路指導) ・ 教育課程表の検討及び生徒支援体制の確立。
------	--

領域	対象	評価項目(具体的活動目標)	評価の観点	成果と課題	達成度	改善策・向上策	
教育活動	教育課程	教育課程表の検討	当初の教育課程表の洗い出し。定時制の将来構想を踏まえての検討をするより良い教育課程の作成ができたか。	今年度はまだ教育課程について研究・検討はされていないが、個人的な意見は寄せられている。		C 今後の定時制のあり方を踏まえた上で、研究・検討を図りたい。	
	学習指導	習熟度別講座の発展(数学・英語)	学力が多様化する生徒に対して学力の定着が図れたか。	生徒の学力に合った授業展開ができたが、昨年より学力の幅が広く、大変であった。	B	特別支援についての意見を集めてから研究会を開く予定。	
			学習効果があったか。	幅広い学力層での効果は大きい	B		
	生徒指導	心のケア(不登校からの立ち直り支援)	生徒支援体制の確立	生徒の興味・関心が持てるような授業作りがなされたか。	各教科担当者の努力により、授業アンケートの結果が昨年より良かった。	B	授業担当者と生徒が共に前半を見つめ直すことにより、今後のより良い授業につなげる。
				生徒個々の状態を把握するためにカウンセリング等早期の対応が図れたか。	相談を行って学校生活に順応できるよう支援を行う対応ができた。	B	
	進路指導	生徒の個性を踏まえた指導	進路指導方針の確立	多様な生徒に対する支援を行う。	早期に支援の必要な生徒を把握した。	B	職員の研修を行っていく。
早い段階から進路意識をもたせることができたか、また、進路に関する学習時間を増やすことができたか。				今年は専門家に依頼することで、1～3年生には進路に対する基礎知識を、4年生には具体的な対策をとることができた。	A	入学してから早めの進路指導を実施し、生徒に自ら進路選択ができる力をつけさせる。	
部活動指導	生徒指導に関連した指導	個に応じた適切な指導ができたか、また生徒指導に繋がる指導であったか。	シラバスに方針が掲載できたか。	検討中である。	B	今後役に立つマニュアル作りを図る。	
				生徒と共に練習メニューを考え、短時間でも効率良く練習に取り組んでいる。	B	寒い時期になるが、引き続き活発に活動させたい。	

領域	対象	評価項目(具体的活動目標)	評価の観点	成果と課題	達成度		改善策・向上策
学校運営	地域との連携	学校開放事業の実践	学校開放の事業が関係者に周知されたか、また開放事業の内容が適切であったか。	授業参観や体験入学を実施し、定時制の学校生活について理解を深める場を設けた。	B	C	地域の方が多く来校できるような企画を検討したい。
		NPO 組織との連携	交流や情報交換がなされ、組織の要求に応えることができたか。	検討中。			
		学校からの情報発信	要望に応える HP の更新がなされたか。教育活動を様々な方法で発信できたか。	HP の全面更新を行った。また、パンフレットも計画中である。	A		内容を精選し、分かりやすいパンフレットを目指したい。
	組織運営	校務分掌組織の完成	実効性のある態勢がつくれたか。	おおよそ適切な組織作りができたと思われる。	B		従来からの分掌にとどまらず、柔軟な対応ができる態勢を検討していく。
			均衡のとれた分担ができたか。	ほぼ均衡はとれていると思われる	B		
	校内研修	生徒に還元される研修の実践	多様化する生徒に対し、個を伸ばす研修ができたか。	生徒理解のための職員研修を実施した。また、日々生徒の様子について必要に応じて情報交換を行っている。	B		生徒増にともなう状況の変化に対応した研修をしたい。